

代表質問 (2)、議会 NEWS (1)

市長の施政方針の概要、代表質問 (1)

代表質問・一般質問の要旨

第1回定例会では、市長の平成26年度の施政方針に対して、会派ごとに質問をする「代表質問」と無所属議員による「一般質問」が4日間にわたり行われました。2面～7面では、市長の施政方針及び代表質問・一般質問の主な内容についてお知らせします。◇質問の詳しい内容については、5月下旬に発行予定の会議録をご覧ください。なお、会議録は、両庁舎情報公開コーナー、全図書館、市ホームページでご覧いただけます。

施政方針の概要

ここでは、代表質問・一般質問の対象となる市長の施政方針について主な内容をお知らせします。なお、詳細につきましては、市報3月15日号、市ホームページでご覧いただけます。



はじめに

平成26年度から第2次総合計画、第4次行財政改革大綱に基づく次の10年のまちづくりをスタートさせる。これまでの成果を次世代に引き継ぎ、より地域が自立自立し、独自性を発揮できるよう取り組む。

行財政改革の取組

市財政状況の将来見通しを踏まえ、従来の行財政改革を継続するだけでは、今後、必要なサービスを提供し続けることはかなわないとの認識に至った。このように、行財政改革の必要性の高まりに加え、総合計画を行財政運営の側面から支えるという観点から、第4次行財政改革大綱

の策定を1年前倒しして、現在、取り組んでいる。平成26年度の主要な取組

《もつと健康 もつと元気》 地域包括ケアシステムの構築につながる仕組みや体制づくり、取り組む。健康応援団を創設して情報共有化を図り、健康増進を図るきっかけとなる施策を提供する。

《災害に強い快適な都市インフラ整備を進めよう》 防災行政無線(同報系)は、放送が聞き取りづらい地域に予備を増設する。

《あなたと変える いっしょに変える》 関東有数の縄文遺跡である下野谷遺跡について、国指定史跡登録に向けた調整を進める。

《次世代への責任をしっかりと果たそう》 私立認可保育園2園の開設計画と、市立保育園3園で1歳児受入枠拡大の準備を行い、認可外小規模保育園1園開設と家庭的保育事業の拡充を図る。

《ごみ減量について》 剪定枝や落ち葉等の資源化事業を継続し、生ごみの資源化事業推進や使用済小型電子機器等の資源化事業を充実する。

また、空間放射線量の測定、保育園や小中学校等の給食食材の放射性物質検査も継続実施する。

《あなたと変える いっしょに変える》 関東有数の縄文遺跡である下野谷遺跡について、国指定史跡登録に向けた調整を進める。

《ごみ減量について》 剪定枝や落ち葉等の資源化事業を継続し、生ごみの資源化事業推進や使用済小型電子機器等の資源化事業を充実する。

自由民主党西東京市議団 第2次総合計画初年度 理想のまち実現に向けて 前へ前へと、市長・職員が一丸となって突き進め!

浅野 高司 浜中のりかた 酒井 豪一郎 田中 のりあき 保谷 なおみ 稲垣 裕二 小林 たつや 遠藤 源太郎

【答弁】国においては、低所得者対策として臨時給付金事業を実施する。本市においては、独自の施策として、小規模商店を対象に市内消費喚起事業を実施する。

【答弁】国においては、低所得者対策として臨時給付金事業を実施する。本市においては、独自の施策として、小規模商店を対象に市内消費喚起事業を実施する。

【答弁】国においては、低所得者対策として臨時給付金事業を実施する。本市においては、独自の施策として、小規模商店を対象に市内消費喚起事業を実施する。

【答弁】国においては、低所得者対策として臨時給付金事業を実施する。本市においては、独自の施策として、小規模商店を対象に市内消費喚起事業を実施する。

【答弁】高齢者が可能な限り地域で暮らし続けられるよう、地域包括システムを2025年までに構築していくことを目指す。認知症及びねたきり高齢者等紙おむつ給付事業について

【答弁】市民の主体的な健康づくりを支援し、取り組みを発展させることを目的に健康応援団を創設する。また、早稲田大学応用健康科学研究室が提唱する「スモールチャレンジ健康づくり」の取り組みも検討する。

【答弁】防炎行政無線のさらなる改善と、それを補完するサービスの提供について。また、防炎行政無線の聞き取りづらい地域の解消について

【答弁】本市では平成23年度から「都市と農業が共生するまちづくり事業」を進め、農のアカデミー農業体験園や農のアトリエ「蔵の里」等の整備を行ったほか、平成25年度は、農業普及啓発プロジェクトの整備や「めぐみちゃんメニュー」事業を開始した。成果としては、農のアカデミー農業体験園や農のアトリエ「蔵の里」において、小学生児童等に市内農業の学習の機会を提示したほか、市民に農業に触れる場を提供し、農業に対する理解を深めてもらうことができた。課題として

【答弁】本市では平成23年度から「都市と農業が共生するまちづくり事業」を進め、農のアカデミー農業体験園や農のアトリエ「蔵の里」等の整備を行ったほか、平成25年度は、農業普及啓発プロジェクトの整備や「めぐみちゃんメニュー」事業を開始した。成果としては、農のアカデミー農業体験園や農のアトリエ「蔵の里」において、小学生児童等に市内農業の学習の機会を提示したほか、市民に農業に触れる場を提供し、農業に対する理解を深めてもらうことができた。課題として

【答弁】本市では平成23年度から「都市と農業が共生するまちづくり事業」を進め、農のアカデミー農業体験園や農のアトリエ「蔵の里」等の整備を行ったほか、平成25年度は、農業普及啓発プロジェクトの整備や「めぐみちゃんメニュー」事業を開始した。成果としては、農のアカデミー農業体験園や農のアトリエ「蔵の里」において、小学生児童等に市内農業の学習の機会を提示したほか、市民に農業に触れる場を提供し、農業に対する理解を深めてもらうことができた。課題として

【答弁】本市では平成23年度から「都市と農業が共生するまちづくり事業」を進め、農のアカデミー農業体験園や農のアトリエ「蔵の里」等の整備を行ったほか、平成25年度は、農業普及啓発プロジェクトの整備や「めぐみちゃんメニュー」事業を開始した。成果としては、農のアカデミー農業体験園や農のアトリエ「蔵の里」において、小学生児童等に市内農業の学習の機会を提示したほか、市民に農業に触れる場を提供し、農業に対する理解を深めてもらうことができた。課題として



農のアトリエ「蔵の里」(中町6丁目)



下野谷遺跡公園(東伏見6丁目)

【答弁】本市では平成23年度から「都市と農業が共生するまちづくり事業」を進め、農のアカデミー農業体験園や農のアトリエ「蔵の里」等の整備を行ったほか、平成25年度は、農業普及啓発プロジェクトの整備や「めぐみちゃんメニュー」事業を開始した。成果としては、農のアカデミー農業体験園や農のアトリエ「蔵の里」において、小学生児童等に市内農業の学習の機会を提示したほか、市民に農業に触れる場を提供し、農業に対する理解を深めてもらうことができた。課題として

【答弁】本市では平成23年度から「都市と農業が共生するまちづくり事業」を進め、農のアカデミー農業体験園や農のアトリエ「蔵の里」等の整備を行ったほか、平成25年度は、農業普及啓発プロジェクトの整備や「めぐみちゃんメニュー」事業を開始した。成果としては、農のアカデミー農業体験園や農のアトリエ「蔵の里」において、小学生児童等に市内農業の学習の機会を提示したほか、市民に農業に触れる場を提供し、農業に対する理解を深めてもらうことができた。課題として

議会 NEWS (1)

議員研修会を開催しました

「全国市議会議長会における議会のあり方研究会の概要」

市議会では、平成26年1月30日に議員研修会を開催しました。講師には、政策研究大学院大学副学長で、西東京市行財政改革推進委員会委員長を務めておられる横道清孝氏をお招きしました。横道氏は、全国市議会議長会に設置された「議会のあり方研究会」の副座長に就任されたことから、研修会においては、同研究会において議論されている内容と、今後の方向性について、お話をいただきました。

この中で、昨今の投票率低下には、議会と住民との関係が希薄になってきていることも関係しており、どのように住民に議会を身近に感じてもらい、議会の「見える化」を進めるかが重要であるとの指摘がありました。また、議会基本条例などの議会改革に関する意見等、現在の当市議会の議論に役立つ貴重な意見もいただきました。出席した議員からも活発な質疑応答が交わされ、充実した研修となりました。